

令和2年度予算の執行について

世界的な規模で感染が拡大している新型コロナウイルス感染症の影響により、日本はもとより世界各国の経済が厳しい状況にある。国の緊急事態宣言は解除されたものの、未だ予断を許さない状況である。こうした状況下においても、区民が安心して生活できる環境を提供することは急務であり、区は、現在、医療・生活・経済支援対策について、取り組んでいるところである。

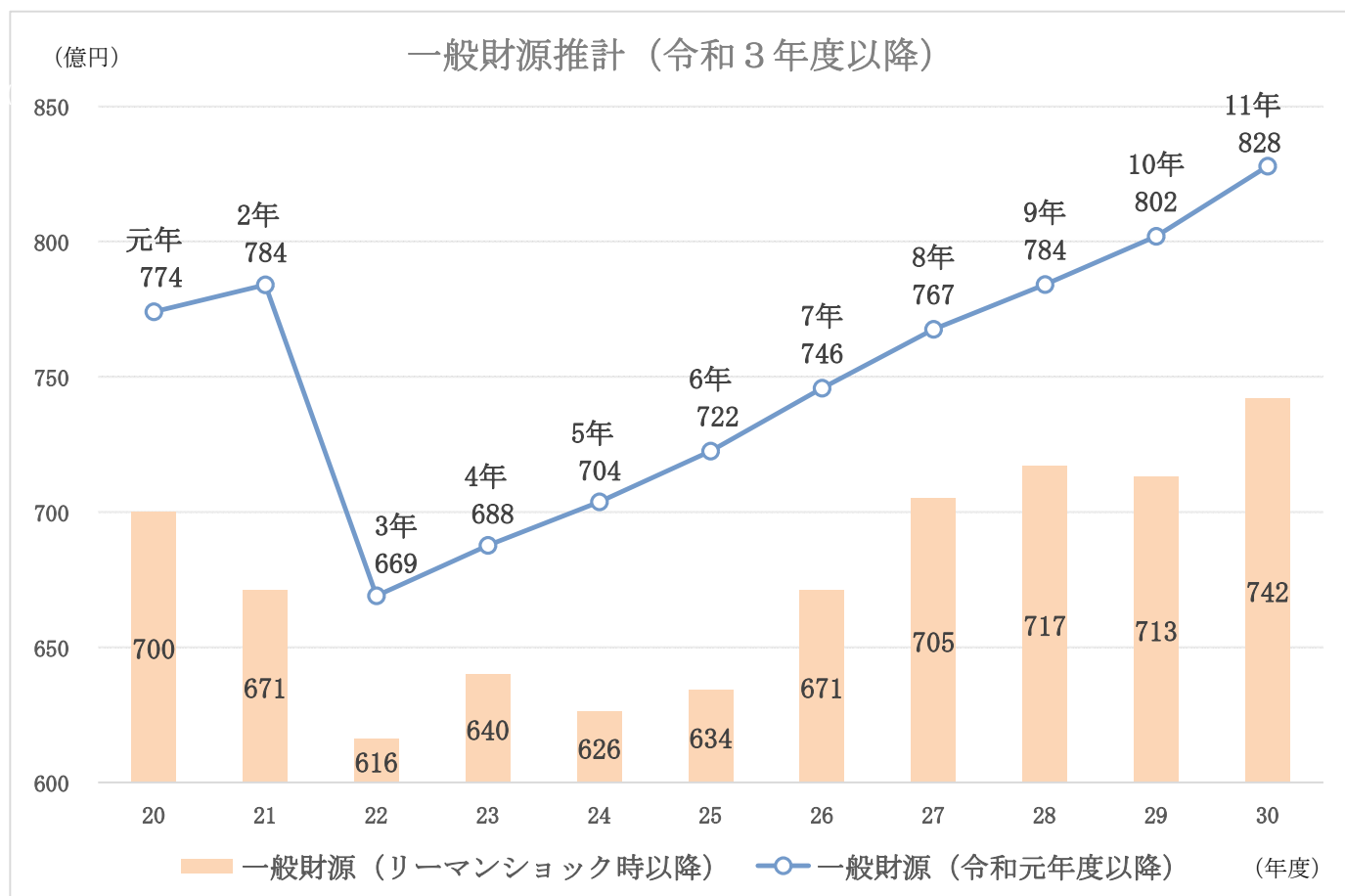
このような対策を進めるにあたり、安定した財政基盤の構築は必須である。平成20年に発生したリーマンショック時においては、一般財源が平成22年度予算において約54億円の減となった。リーマンショック時から約1.4倍の財政規模となっている令和2年度に換算すると約77億円の減となるが、新型コロナウイルス感染症拡大による影響が多岐に渡っていることを考慮すると、リーマンショック時以上、単年度において100億円以上の減収を想定した対応が必要となってくる。

これを踏まえ、今年度の事業実施にあっては、事業の規模や時期、方法について十分に検討し、見直すべきものは見直し、歳出の抑制に努めることとした。この度、令和2年度予算で計画した事業について、今後の執行見込みを取りまとめたので報告する。

執行を調整する事業項目（一般財源）

（単位：千円）

項目	予算額			一般財源 削減 見込額	見直しの方向性	
	事業費	特定財源	一般財源			
新規・拡充事業						
1	子育て先進区推進 （リーフレット作成、 Web調査等）	1,523	0	1,523	1,500	啓発・調査事業については中止する。
2	（仮称）子どもの権利 条例の検討	3,415	0	3,415	2,260	今年度の啓発事業の実施は見送る。
3	木製おもちゃの子ども 施設への配置	17,600	0	17,600	14,400	児童館への配置については、見送る。
4	学校における働き方改 革の推進	11,963	3,500	8,463	4,104	教育情報化の推進が急務であるため、今年度予定していた学校事務の共同化の検討は延期する。多機能印刷機については、予定どおり設置する。
5	学校再編等に伴う施設 整備	12,372,946	1,791,891	10,581,055	123,164	校舎老朽化に伴う改築（中野本郷小・桃園第二小）に係る基本構想・基本計画・基本設計・実施設計について実施時期の見直しを行う。その他については、計画通りに実施する。
6	地域子育て支援に関する 調査研究	4,092	0	4,092	4,092	中止する。
経常事業						
1	移動教室	91,043	0	91,043	79,475	中止する。中学2年生のスキー教室は、引き続き検討する。
2	海での体験事業	50,186	8,600	41,586	41,586	中止する。
3	学校行事、講座、研 修、調査等	8,573	300	8,273	5,290	中止、規模縮小等を行う。その他の事業についても同様に検討する。
執行方法・経費等について検討中の主な事業						
1	修学旅行	2,213	0	2,213	—	教育委員会において引き続き検討する。
2	水泳指導補助	12,786	0	12,786	—	教育委員会において引き続き検討する。
部合計		12,576,340	1,804,291	10,772,049	275,871	



※1 令和元年度及び2年度は当初予算額

※2 財産費相当額を控除

【推計方法】

- 1 令和3年度以降の一般財源については、平成20年のリーマンショック以降の当初予算額の推移を基に推計した。
- 2 平成23年に東日本大震災が発生し、平成24年度以降の予算額に影響があると考えられるため、令和4年以降の伸び率は平成23年度以降の5か年の伸び率の平均により算出した。